

# 財政局方針

財政局長 石田 剛史

創立から50年、脈々と受け継がれてきた伝統と積み重ねてきた資産を次世代へと継承していくためには、公益社団法人として、より一層の公益性と透明性の高い組織運営が求められます。創立50周年という節目の年を迎え、メンバーが創始の想いを改めて心に刻み、青年会議所運動とは何のために行っているかという原点に立ち返ったうえで、社会・意識の変化を読みとり、青年会議所の将来を見据えた事業を展開することが必要です。

まずは、メンバーより預かった貴重な財源を、地域の負託と信頼に応える公益性の高い運動に有効に活用するためにも、委員会事業の公益性について財政とコンプライアンスの面から管理する体制を構築し、委員会活動が円滑に進むように努めます。また、創立50周年を盛り上がりのある年にするため、賛助会員の募集を先輩諸兄だけでなく地域住民に対しても積極的に行い、青年会議所の活動や想いを伝える機会を増やすことで、地域住民からの活動への理解と事業への参加を推進します。さらに、青年会議所が活動範囲を広げ、発信力のある事業をするためにも、行政やNPO法人など他団体からの協力が必要であると考え、外部資金の導入など有用な情報を収集し、各委員会が活用しやすいように情報を集約することで、委員会事業の下支えに努めます。そして、LOM運営の屋台骨である事務局とともに活動をすることで、常に委員会の現状の把握、共有が可能となり、資金の動きが大きくなる創立50周年という特別な年においても、適正な予算組みを実行することで、無駄な費用の削減につなげ、今後の組織運営の見本となるように努めて参ります。

財政局が財政とコンプライアンスを適時・適格に管理しメンバーに意識付けをすることで、公益性と透明性をもち続ける組織へ進歩し、地域住民が事業へ参加しやすい開かれた組織を継続していくことで、地域からさらに必要とされる団体になると確信します。

## 【運営方針】

1. LOM予算書・決算書を作成します。
2. 各委員会事業の財政とコンプライアンスの精査及び審査を実施します。
3. 賛助会員の募集を積極的に行い、事業への参加を推進します。
4. 外部資金の導入など有用な情報の提供を積極的に行います。
5. 財政の管理及び会費の徴収を行います。
6. 会員拡大を推進します。
7. 50周年記念事業への協力と実施をします。